



多田 勉 議員

一問一答方式

鱒沢地区センターの整備時期は

市長 年内に基本構想を提示したい

問 令和元年度完成予定であった整備が今に至っても進んでいない理由は。

答(市長) 平成29年度から整備検討委員会を立ち上げ、平成30年度から用地取得交渉を進め、確保することができた。3つの点に対応することとし、一つ目は、人口減少への対応と定住人口の

確保策を講じること。

二つ目は、交通の要所として防災面など多用途に使うこと。

三つ目は、鱒沢地区の各施設の有機的連携を講じ、多用途な利用を可能にする施設として議論してきた。

令和3年度改めて基本構想を具体化し、年内に再度示したい。

問 いつを目途に地区センター整備をするのか。

その他の質問
●市道管理と整備の在り方について

答(市長) 知恵とアイデアを提案いただき、新たな地区センターの在り方を展望できればとの思いであり、基本設計を踏まえた上で検討する。

問 他地区と比較して鱒沢地区に対する地区センター環境、機能の提供に格差がある。

答(市長) 鱒沢地区にはご不便をおかけしている。地区センターの有無にかかわらず全力で対応している。

問 地方の小さな自治体の首長として、国会議員や国の各官庁との太いパイプの構築や連携の重要性については。

市長 8月12日からは

妊婦や、64歳以下のワクチン接種状況は

全世代の接種予約開始

ある。

問 市内の妊娠している女性の把握と、ワクチン接種状況の実態把握は。

答(市長) 令和3年10月以降に出産を迎える予定の妊婦は48人で、そのうち9月1日時点で接種を済ませた妊婦は9人で、今後予定している妊婦は19人、その中で市が設定する優先接種枠での希望者は9人で

問 64歳以下のワクチン接種希望者の予約状況等は。

答(市長) 9月5日現在、64歳以下のワクチン接種状況は7012人(約6割)が1回目を終え、2回目終了者は2287人(約2割)という状況である。8月12日からは、12



歳以上64歳以下の全世代対象の予約を開始。市予約サイトやホームページ、広報遠野、防災行政無線などで広く周知し、集団接種や市内医療機関での個別接種を進めている。

龍本 孝一 議員
(遠野令和会)
一括質問方式

首長として国との関係や連携の重要性は

市長 ピンポイントで遠野の課題を持込める人脈が大事



平成27年当時の安倍首相も出席された金石道「遠野～宮守間」開通式の様子

問 地方の小さな自治体の首長として、国会議員や国の各官庁との太いパイプの構築や連携の重要性については。

答(市長) どぶろく特区に取り組んだ折、当時の小泉総理大臣の新春対談相手に選ばれ、大変親しく懇談して政府広報誌の表紙を飾った。

リーマンショック当時は、麻生総理大臣から官邸で地域経済の立て直しの実情についてヒアリングを受けたこともある。霞が関や永田町に、ピンポイントで遠野市の課題をどう持ち込むのかということについては、表の道ばかりではなく、いわゆる獣道を辿って行かなければならず、多くの関係者や仲間の皆様に助けていただいた。

問 市職員へ、これまでの市政運営への慰労のことばなどがあつたら伺いたい。

答(市長) 少ない人数の中、職員はそれぞれの立場で市政課題に立ち向かい、この20年間真摯に業務に向き合っていたことに、ただただ感謝の一言である。

豪雨対策に田んぼダム推奨を

市長 策の一つとして可能性を検討



下鱒沢 家老沢川



綾織 砂子沢川

土砂の堆積で草木が繁茂して増水時の被害が心配される河川

問 短時間豪雨の洪水対策に田んぼダムが有効とされているが、遠野市として推奨の考えは。

答(市長) 国内では局所的な短時間豪雨が増加傾向にある。国内の時間雨量50ミリを超える件数は30年前と比べると約1.4倍、県内では約3.2倍に増加している。田んぼダムは排水路や河川への流出を抑制し、洪水被害を軽減する取り組みで、市内においても河川氾濫防止策の一つと考え、普及の可能性を検討したい。

問 市内の支流河川で土砂堆積や護岸基礎部分が掘れている箇所があり、増水時の災害が心配される。

答(市長) 目視確認できない所もあり、地域住民の情報提供で実情を把握しながら河川機能が発揮できるように適切な維持管理を行う。